

### ③ 職業能力評価項目（個票）の要件（その3）

職業能力評価項目（個票）には、「職種」、「職務」、「課業（能力ユニット）」、「能力細目」、「職務遂行のための基準」、「コード番号」、「職業能力評価基準の出所」を記載する必要があります。

#### ※ 職業能力評価項目（個票）の記載例

1 個票番号	29	2 労働者区分	スタッフ
3 職種	プレス曲げ加工	4 職務	曲げ加工
5 課業（能力ユニット）	プレス曲げ加工	6 職業能力体系図の項目番号	A29

7 能力細目	8 職務遂行のための基準	9 コード
プレス曲げ加工の理解と段取り	金属プレス加工に関し、作業の段取り、材料の選定及び板取り、試し加工及び調整を適切に行っている。	34S100L11
	金属プレス加工作業におけるプレス曲げ加工の工程分析を適切に行っている。	34S100L11
	プレス曲げ加工用の機械によるU形曲げは、スプリングバックやスプリングゴーによって金型に閉じ込められやすい等の特徴を把握している。	34S100L11
	機械プレスの圧力能力、トルク能力、仕事能力、偏心荷重の4つの能力特性を確実に理解している。	34S100L11
プレス曲げ加工の実施	材料をボトムダイ上に位置決めし、パンチを押し下げることでプレス曲げ加工を適切に行っている。	34S100L11
	加工作業の終了後は後始末を実施している。	34S100L11
	金属プレス用金型に関する組立て、型合せ、分解を適切に行っている。	34S100L11
	金属プレス加工現場の5Sやロス・ムダの発見等により、加工作業の効率化と正味作業時間の短縮化に向けた取組みを行っている。	34S100L11
プレス曲げ加工の終了と評価	プレス機械、プレス機械の附属装置、金型、安全装置、その他の工具の点検及び整備を適切に行っている。	34S100L11
	プレス曲げ加工製品に関する、寸法検査、外観検査、金型に起因する加工欠陥の検査及びその対策を行っている。	34S100L11
	設備の点検、機器各部の注油及び点検、工具の手入れやメンテナンスを定期的実施し、プレス工具の寿命の判定を行い、工具磨耗補正量の設定を実施している。	34S100L11
10 評価基準の出所	職業能力評価基準	

\*1 本記載例は、P30～P31の金属プレス加工工業企業の職業能力体系図の作成例の、項目番号A29：プレス曲げ加工に対応するものとして作成しています。

\*2 コード番号などの詳細は54Pをご覧ください。